石見神楽を保存・伝承するために「必要な取組」及び「推進主体」の検討 (グループワーク)

【グループワークの目標】

第2回専門委員会で検討した内容などを保存・伝承するために、
「どんな取組が必要か」や「その取組は誰が主体となって推進するのか」
の検討を行い、各委員の意見・考えを把握する。

※ 今回のグループワークのテーマについては、

資料1～2及び裏面の第1～2回専門委員会での「取組」に関する主な意見を
参考にしてください。

1 グループ分けについて

今回は、委員の皆さんの意見をより深掘りするため、以下のとおり専門分野ごとに3グループに分かれて検討を行います。

なお、違う目線での意見も取り入れるため、グループ発表後に他グループからの質疑や意見交換を行うこととしています。

グループ名	区分	テーマ
Aグループ	神楽団体	舞、演目、社中の保存・伝承など
Bグループ	神楽産業	道具、製作技術、産業の継続・発展など
Cグループ	上記以外	歴史・伝統などの情報発信、後継者育成、ファン拡大など

2 グループワークの進め方について

司会進行及び発表は、各グループに配置されているエブリプランが行います。

ステップ1

グループ内での意見交換（約60分）

ステップ2

グループごとに出された意見を発表及び質疑・意見交換（約30分）

（1グループ発表：3分、質疑・意見交換：7分、計10分×3グループ）

裏面に続く

第1～2回専門委員会での「取組」に関する主な意見

【神楽団体（舞、演目、社中の保存・伝承など）】

- ・社中や神楽協議会などの組織体を強固にする。団体同士が点から線へ
- ・映像の記録
- ・社中と演目をセットで文化財指定
- ・他団体との交流神楽
- ・高齢者等が見やすいようにまちづくりセンターや昼間の神楽上演、YouTube配信
- ・フルの本物の神楽の発信
- ・観光客が満足できる体験
- ・情報発信できる体制の整備（拠点施設、展示施設の整備）

【神楽産業（道具、製作技術、産業の継続・発展など）】

- ・浜田市が保管している昔の面の型の調査
- ・神楽産業の文化財指定、後継者育成
- ・神楽産業の研修制度
- ・市民が知る場を増やす取組
- ・情報発信できる体制の整備（拠点施設、展示施設の整備）

【その他（歴史・伝統などの情報発信、後継者育成、ファン拡大など）】

- ・市内の高校などで科目として教えていくこと
- ・神楽に関することを全てまとめて学べる機会の創出
- ・市民が知る場を増やす取組
- ・ふるさと郷育
- ・子どもたちの知る、学ぶ、舞うことをかなえる体験
- ・マネタイズ（収益化）のために、DX化やNFT技術を活用し、コンテンツをデジタルデータ化して世界に売っていく
- ・他団体との交流神楽
- ・高齢者等が見やすいようにまちづくりセンターや昼間の神楽上演、YouTube配信
- ・フルの本物の神楽の発信
- ・神楽さまざまなまちづくり
- ・観光客が満足できる体験
- ・情報発信できる体制の整備（拠点施設、展示施設の整備） など